令和８年度　松永文庫　秋の企画展

北九州ゆかりの映画資料展

― 特集・映画俳優　高倉健 ―

令和８年 10 月 7 日（水）～

令和９年 1 月 11 日（月・祝）

映画の職人が遺した２０５の物語。



入場無料

展示時間　9:00～17:00
休 館 日　月曜日（祝日の場合翌日）臨時休館 11/17 年末年始 12/29～1/3
展示場所　松永文庫展示室　特別開館 11/9

・お問い合わせは　松永文庫　検索

令和８年度　松永文庫　秋の企画展

北九州ゆかりの映画資料展

―特集・映画俳優　高倉健―

映画の職人が遺した205の物語。

昭和から平成にかけて日本映画界の第一線で活躍し、数多くの作品で人々を魅了し続けた映画俳優・高倉健。本展では、当館が所蔵する貴重な映画資料を通じ、デビューから晩年までの俳優人生をたどります。

高倉健がスクリーン上で体現してきた人物像は、その時代の日本人が抱いた理想や憧れ、そして心の拠り所でもありました。作品ごとに見せる佇まいや眼差し、演じた人物の変化を追うことは、ひとりの俳優が日本映画史の中で果たした役割をあらためて見つめることでもあります。

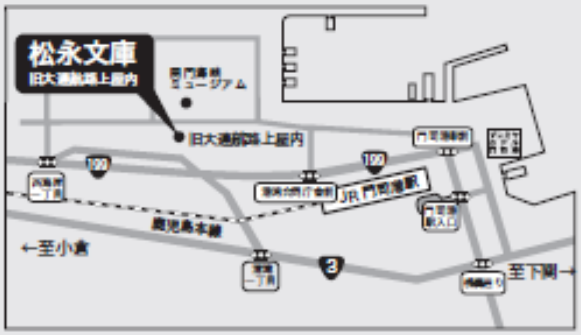
当時の映画宣伝を彩ったポスターを中心に、俳優人生の節目となった作品を豊富な資料から厳選。時代を映すキャッチコピーや力強いグラフィックデザインとともに、日本映画の変遷と高倉健が築いた独特の作品世界を紹介します。

1931（昭和6）年に現在の中間市に生まれ、少年時代を北九州で過ごした高倉健。晩年の主演作『あなたへ』では、撮影のため再び北九州を訪れ、門司港での撮影の合間には、当館にも立ち寄られました。

ゆかりの地・北九州から、時代を超えて今なお多くの人を惹きつけてやまない「映画俳優・高倉健」の足跡と魅力を、ぜひ感じてください。

◆展示ポスターの一例

「電光空手打ち」（1956デビュー作）
「ジェット機出動 第101航空基地」（1957）・「娘の中の娘」（1958）・「悪魔の手毬唄」（1961）
「人生劇場 飛車角」（1963）・「日本侠客伝」（1964）・「昭和残侠伝」（1965）・「網走番外地」（1965）
「緋牡丹博徒」（1968）・「燃える戦場」（1970）・「無宿（やどなし）」（1974）・「神戸国際ギャング」（1975）
「君よ憤怒の河を渉れ」（1976）・「幸福の黄色いハンカチ」（1977）・「ブラック・レイン」（1989）
「あなたへ」（2012）



松永文庫 ―レトロの街の映画・芸能資料館―
展示室（旧大連航路上屋）：北九州市門司区西海岸 1-3-5
TEL(093)331-8013 FAX(093)331-8012
HP:matsunagabunko.net/home

松永文庫について

松永文庫は、1997 年（平成 9 年）10 月、松永武（門司区長谷）が、映画研究のためおよそ 60 年にわたって収集した映画・芸能関連の資料を、自宅を開放して無料公開し誕生しました。2009 年（平成 21 年）11 月、これらの資料すべてを北九州市に寄贈。北九州市の文化施設として、門司市民会館（門司区老松町）で無料一般公開されました。以来、テーマを決めて館内・館外企画展を開催し、県内外から訪れる多くの来館者に映画文化を紹介しています。2013 年（平成 25 年）7 月、旧大連航路上屋グランドオープンに伴い、この地で松永文庫の資料展示を始めました。2016 年（平成 28 年）5 月、日本映画批評家大賞受賞。

新聞記事は生きている。だから生かし続けたい。
松永文庫の特性は、映画俳優を含む芸能全般に関わる、いわゆる芸能人と称される人達の「生き方」に力点を置いて関係資料を収集し続けていることです。